

■ 病院指標 ■

1、年齢階級別退院患者数

年齢区分	0 ～	10 ～	20 ～	30 ～	40 ～	50 ～	60 ～	70 ～	80 ～	90 ～
患者数	2	13	40	55	65	196	396	928	853	404

定義

- ・令和7年度に当院を退院された患者さんを10歳刻みで年齢階級別に集計しています。
- ・年齢は入院時の年齢です。
- ・90歳以上を1つの階級として集計しています。

◇ 高齢化の影響もあり60歳以上の患者さんが多く、全体の約87%を示しています。
地域の幅広い年齢層の患者さんを多く受け入れており、地域密着型の医療提供に努めています。
70歳以上の疾患構造は、肺炎、心臓疾患等が多くを占めています。

2、診断群分類別患者数等（診療科別患者数 上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

[呼吸器内科]

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
040040xx9910xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり 手術・処置等2なし	93	2.90	2.99	0.00	74.35
0400802499x0xx	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上） 手術なし 手術・処置等2なし	73	19.07	16.10	1.37	83.92
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	53	20.26	20.49	1.89	87.09
040110xxxx00xx	間質性肺炎 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	42	29.05	18.39	2.38	79.38
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	41	20.34	13.45	2.44	77.27

- ◇ 当院は、呼吸器疾患について、専門の医師5名で診療にあたっています。
- ◇ 上記に「肺の悪性腫瘍」が2つ表示されていますが、一番上段の悪性患者数は肺悪性腫瘍疑いによる検査入院となった患者数、五段目は癌治療（化学療法を除く）による入院となった患者数を示しています。
- ◇ 肺悪性腫瘍の治療も多く、外来や入院での化学療法治療も行っています。
- ◇ 検診受診後の精密検査については、1泊2日の気管支鏡検査を多数手がけています。
- ◇ 睡眠時無呼吸症候群の診療も行っています。

2、診断群分類別患者数等（診療科別患者数 上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

[外科]

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
060035xx99x5xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 5あり	63	3.81	4.36	0.00	79.52
060035xx99x6xx	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 6あり	45	4.00	4.61	0.00	73.18
060160x001xxxx	鼠径ヘルニア(15歳以上) ヘルニア手術 鼠径ヘルニア等	40	4.40	4.56	0.00	73.23
060040xx99x6xx	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 6あり	31	4.00	4.45	0.00	71.13
060040xx99x4xx	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等2 4あり	28	4.14	4.16	0.00	64.21

◇ 当院外科では大腸癌患者さんの抗癌剤治療の多くを、2週間毎に3泊4日の入院にて行っています。
入院患者数は、これらの延べ人数を集計していることが反映されています。

2、診断群分類別患者数等（診療科別患者数 上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

[呼吸器外科]

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
040040xx9900xx	肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	-	-	-	-	-
040050xx97x0xx	胸壁腫瘍、胸膜腫瘍 その他の手術あり 手術・処置等2なし	-	-	-	-	-
0400802499x0xx	肺炎等（市中肺炎かつ75歳以上） 手術なし 手術・処置等2なし	-	-	-	-	-
040150xx97x0xx	肺・縦隔の感染、膿瘍形成 手術あり 手術・処置等2なし	-	-	-	-	-

- ◇ 2026年5月の開設に伴い、本集計対象が開設後1ヶ月間となり各項目10例未満となっております。
- ◇ 肺癌や気胸をはじめとする胸部疾患の専門的な外科治療を行っています。
- ◇ 院内各部門との密接なチーム連携のもと、患者さんの生活背景に配慮した最適な治療のご提案とサポートに努めてまいります。

2、診断群分類別患者数等（診療科別患者数 上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

[耳鼻咽喉科]

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
030400xx99xxxx	前庭機能障害 手術なし	15	12.47	4.67	0.00	73.87
030240xx99xxxx	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 手術なし	-	-	-	-	-
080010xxxx0xxx	膿皮症 手術・処置等1なし	-	-	-	-	-
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	-	-	-	-	-
030428xxxxx0xx	突発性難聴 手術・処置等2なし	-	-	-	-	-

- ◇ 扁桃腺疾患が多くなっています。
- ◇ 幅広い年齢層に対応し、めまいや突発性難聴や顔面神経麻痺の患者さんの診察も多く行っています。

[泌尿器科]

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
110080xx991xxx	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等1あり	38	3.00	2.45	0.00	72.53
110070xx03x20x	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 手術・処置等2 2あり 定義副傷病なし	10	12.4	6.63	0.00	76.9

2、診断群分類別患者数等（診療科別患者数 上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	-	-	-	-	-
11012xxx97xx0x	上部尿路疾患 その他の手術あり 定義副傷病なし	-	-	-	-	-
110280xx97x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 その他の手術あり 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-	-	-	-	-

- ◇ 膀胱腫瘍疾患をはじめ、腎臓または尿路感染症の診療を行っています。また、血液透析の患者さんも多く治療を行っています。
- ◇ 前立腺生検検査も年間39件実施し、継続的な治療が必要な場合にも対応しています。
- ◇ 腎機能低下例の癌症例にも、積極的に抗癌剤を使用しています。

2、診断群分類別患者数等（診療科別患者数 上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

[循環器内科]

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
050130xx9900x0	心不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし 他の病院・診療所の病棟からの転院以外	109	24.50	17.31	3.67	82.26
050050xx9910xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1 1あり 手術・処置等2なし	44	3.84	3.10	2.27	65.66
050050xx9920xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等1 2あり 手術・処置等2なし	31	4.00	3.26	0.00	67.00
050050xx0200xx	狭心症、慢性虚血性心疾患 経皮的冠動脈形成術等 手術・処置等1なし、1, 2あり 手術・処置等2なし	20	6.00	4.12	0.00	70.45
050130xx9910xx	心不全 手術なし 手術・処置等1 1あり 手術・処置等2なし	17	29.00	14.08	0.00	71.76

- ◇ 狭心症、心筋梗塞、心不全に対し、医師3名が随時24時間体制で受け入れを行っております。
- ◇ 地域の医療機関と連携を行い、心疾患の治療を行っております。
- ◇ 医師、看護師、コメディカル(薬剤師、管理栄養師、理学療法士等)と一緒に治療支援を行います。

2、診断群分類別患者数等（診療科別患者数 上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

[糖尿病・内分泌内科]

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
10007xxxxxx1xx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。) 手術・処置等2 1あり	21	25.33	13.56	9.52	78.48
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	14	20.43	13.42	0.00	80.57
0400802499x0xx	肺炎等(市中肺炎かつ75歳以上) 手術なし 手術・処置等2なし	10	20.40	16.10	0.00	85.60
040081xx99x0xx	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2なし	-	-	-	-	-
10007xxxxxx0xx	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。) 手術・処置等2なし	-	-	-	-	-

- ◇ 糖尿病と診断されたばかりで治療方針が定まらない方、治療中で血糖コントロールがうまくいかない方、進行した合併症をお持ちの方を中心に診療しています。
- ◇ 1型糖尿病の治療全般に対応しています。インスリンポンプの管理も可能です。
- ◇ 高血糖による症状が強い方、糖尿病に感染症などの病気を合併して状態が悪化した方の入院治療を行います。
- ◇ 当院では医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、作業療法士、臨床検査技師および社会福祉士からなる糖尿病療養指導チームによる教育入院に力を入れています。
- ◇ 高齢糖尿病患者さんの生活全般を含めた調整も行っています。
- ◇ 内分泌専門医がおります。下垂体、副腎、甲状腺などの内分泌疾患にも対応可能です。

2、診断群分類別患者数等（診療科別患者数 上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

[腎臓内科]

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
110310xx99xxxx	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	18	19.94	13.42	0.00	86.56
110280xx03x0xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 内シャント血栓除去術等 手術・処置等2なし	12	3.5	3.74	0.00	70.25
110280xx9900xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2なし	-	-	-	-	-
110280xx02x00x	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 動脈形成術、吻合術 その他の動脈等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	-	-	-	-	-
110280xx9901xx	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全 手術なし 手術・処置等1なし 手術・処置等2 1あり	-	-	-	-	-

- ◇ 令和7年10月の開設に伴い、本集計は開設後約8ヶ月分の実績となっております。
- ◇ 健診異常（蛋白尿・血尿・腎機能低下）の早期対応から慢性腎臓病、糖尿病性腎症等まで幅広く診療しています。
- ◇ 総合病院の強みを活かし、循環器内科や糖尿病・内分泌内科等と連携して最適な治療を提供いたします。

[消化器内科]

DPCコード	DPC名称	患者数	平均在院日数(自院)	平均在院日数(全国)	転院率	平均年齢
060100xx01xxxx	小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。） 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術	172	2.12	2.56	0.58	70.56

2、診断群分類別患者数等（診療科別患者数 上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

060340xx03x00x	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2なし 定義副傷病なし	31	15.94	8.76	3.23	75.29
060190xx99x0xx	虚血性腸炎 手術なし 手術・処置等2なし	24	12.88	8.41	0.00	74.83
060102xx99xxxx	穿孔又は膿瘍を伴わない憩室性疾患 手術なし	20	12.00	7.58	0.00	75.35
060335xx99x0xx	胆嚢炎等 手術なし 手術・処置等2なし	18	22.50	11.18	5.56	73.89

◇ 当科では、一般的な消化器疾患を扱うとともに、大腸疾患（炎症性腸疾患など）や胆膵疾患に力を入れて取り組んでいます。
また、福島県立医科大学消化器内科と診断・治療面でスムーズな連携が可能で、同大学での高度医療の窓口機能も有しています。

3、初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数

定義

- ・ 5大癌の初発のUICC病期分類別、および再発に分けて集計をしています。
- ・ 集計されている患者数は、期間内の退院延べ人数となっています。
- ・ 10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。
- ・ 「Stage0」は、集計対象外となっています。

5大癌	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明	再発	病期分類基準	版数
胃癌	-	-	-	18	-	-	1	8
大腸癌	-	48	15	122	49	47	1	7,8
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	8
肺癌	-	-	15	72	10	18	1	8
肝癌	-	-	-	-	-	-	1	8

- ◇ 大腸癌のStage IV（肺転移・肝転移・リンパ節転移等）が多いのは、これらに対する抗癌剤治療の多くを入院にて行っているためです。
- ◇ 肺癌については、早期は福島県立医科大学附属病院等の呼吸器外科へ紹介しています。進行癌については、化学療法を中心に治療を行っています。
- ◇ 各診療ガイドラインに沿って、専門の医師が患者さんと相談しながら最善の治療に努めています。

4、成人市中肺炎の重症度別患者数等

定義

- ・市中肺炎とは、普段の社会生活の中でかかる肺炎です。
- ・令和7年度に集計した15歳以上の退院患者さんです。

重症度	患者数	平均在院日数	平均年齢
軽症	23	9.30	47.00
中等症	107	16.95	79.31
重症	27	23.48	84.04
超重症	－	－	－
不明	－	－	－

- ◇ 成人市中肺炎診療ガイドライン（日本呼吸器学会）による重症度分類を用いて集計を行っています。
- ◇ 当院では、肺炎治療は最も多い疾患となり、昨年度の成人市中肺炎は150件でした。
- ◇ 70歳以上の高齢の患者さんが約7割を占める為、平均在院日数も長めになります。
- ◇ 早期退院に向けて支援に努めています。

5、脳梗塞のICD10別患者数等

定義

- ・最も医療資源を投入した傷病名のICD-10コードが上記に該当した患者さんを集計しています。
- ・10未満の数値の場合は、-(ハイフン)と置き換えてホームページに掲載します。

ICD10	発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
I63\$ 脳梗塞	3日以内	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-

◇ 脳梗塞疾患の患者さんは、3日以内の発症は4人、平均年齢は80歳、平均在院日数は17日でした。
3日以降の発症は3人、平均年齢は81歳、平均在院日数は21日でした。

6、診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

〔外科〕

Kコード	名称	患者数	平均術前 日数	平均術後日 数	転院率	平均年齢
K6335	鼠径ヘルニア手術	44	1.32	1.91	0.00	68.55
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	20	1.00	6.00	0.00	60.50
K7193	結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）	13	2.92	17.92	0.00	75.08
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	-	-	-	-	-
K672	胆嚢摘出術	-	-	-	-	-

◇ 当院外科では、

- ①鼠径ヘルニア手術を原則 3泊4日の入院、硬膜外麻酔下にて行っております。
- ②胃癌・大腸癌を中心に癌の手術を実施しています。特に大腸癌手術が多く、早期癌に対しては腹腔鏡下手術、進行癌に対しては開腹手術を原則としています。
- ③胆石症に対しては、腹腔鏡下手術を多く行っています。

6、診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

[呼吸器外科]

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K488-4	胸腔鏡下試験切除術	-	-	-	-	-
K496-2	胸腔鏡下膿胸膜又は胸膜肺切除術	-	-	-	-	-

- ◇ 2026年5月に開設し、開設日より高度な専門性を活かした外科治療をスタートさせております。
- ◇ 低侵襲な胸腔鏡手術を中心とした安全な手術体制を構築しています。

6、診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

【耳鼻咽喉科】

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K287	先天性耳瘻管摘出術	-	-	-	-	-
K341	上顎洞性後鼻孔ポリープ切除術	-	-	-	-	-
K3772	口蓋扁桃手術（摘出）	-	-	-	-	-
K384	喉頭膿瘍切開術	-	-	-	-	-
K4132	舌腫瘍摘出術（その他）	-	-	-	-	-

◇ 扁桃摘出術や副鼻腔の手術を行っています。また、中耳炎等に関する鼓膜チューブ挿入術も行っています。

6、診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

〔泌尿器科〕

Kコード	名称	患者数	平均術前 日数	平均術後日 数	転院率	平均年齢
K8036イ	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）	10	1.8	9.6	0.00	76.9
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	-	-	-	-	-
K6121ロ	末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）（静脈転位を伴う）	-	-	-	-	-
K830	精巣摘出術	-	-	-	-	-
K616-41	経皮的シャント拡張術・血栓除去術（初回）	-	-	-	-	-

- ◇ 膀胱内にある腫瘍を内視鏡下で切除する経尿道的手術を行っています。また、前立腺肥大の手術も内視鏡下で行っています。
- ◇ その他、血液透析の方にはシャント造設術、腎腫瘍等に対して腹腔鏡下にて腎臓摘出術を行っています。

6、診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

〔循環器内科〕

Kコード	名称	患者数	平均術前 日数	平均術後日 数	転院率	平均年齢
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術（その他）	15	4.73	8.73	0.00	74.20
K5972	ペースメーカー移植術（経静脈電極）	12	6.25	11.00	0.00	83.67
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症）	-	-	-	-	-
K5463	経皮的冠動脈形成術（その他）	-	-	-	-	-
K5491	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞）	-	-	-	-	-

- ◇ 虚血性心疾患に対する経皮的冠動脈ステント留置術を数多く行っています。
昨年度は、冠動脈疾患に対して49人の治療を行いました。
- ◇ マルチスライスCTや血管造影装置を用いて最先端の治療を提供しています。

6、診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

〔腎臓内科〕

Kコード	名称	患者数	平均術前 日数	平均術後日 数	転院率	平均年齢
K616-41	経皮的シャント拡張術・血栓除去術（初回）	13	0.54	1.46	0.00	70.15
K61214	末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）（単純）	12	5.67	9.25	16.67	71.67
K6105	動脈形成術、吻合術（その他の動脈）	-	-	-	-	-
K616-42	経皮的シャント拡張術・血栓除去術（1の実施後3月以内に実施）	-	-	-	-	-

- ◇ 令和7年10月の開設に伴い、本集計は開設後約8ヶ月分の実績となっております。
- ◇ 院内関連各科との密接な連携のもと透析アクセス管理をさらに強化し、新たなシャント造設からカテーテルによる血管の狭窄や詰まりを解消する治療まで幅広く実施しております。

6、診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

定義

- ・診療科別に上位5位を示しています。
- ・10未満の数値の場合は、-（ハイフン）と置き換えてホームページに掲載します。

[消化器内科]

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	163	0.02	1.10	0.61	70.75
K6871	内視鏡的乳頭切開術（乳頭括約筋切開のみ）	24	8.21	8.25	0.00	76.29
K654	内視鏡的消化管止血術	12	0.67	14.75	16.67	82.00
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	11	4.36	24.27	0.00	83.36
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm以上）	10	0.1	1.1	10.00	68.6

- ◇ 大腸ポリープ切除術は、二次検診後の治療が必要な患者さんが多く、昨年は173例実施しています。
- ◇ 大腸悪性狭窄（大腸癌等）に対するステント療法についても行っております。
- ◇ 総胆管結石に対する内視鏡治療や悪性胆石狭窄に対するステント療法にも積極的に取り組んでいます。
- ◇ 福島県立医科大学内視鏡診療部と連携して内視鏡治療を行う体制をとっています。

7、その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率)

定義

- ・最も医療資源を投入した傷病名が上記疾患に該当した患者さんを集計しています。
- ・10未満の数値の場合は、-(ハイフン)と置き換えてホームページに掲載します。

DPC	入院契機	症例数	発生率
130100 播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
	異なる	-	-
180010 敗血症	同一	-	-
	異なる	-	-
180035 その他の真菌感染症	同一	-	-
	異なる	-	-
180040 手術・処置等の合併症	同一	-	-
	異なる	-	-

- ◇ 播種性血管内凝固症候群は3人、発生率は0.09%でした。
- ◇ 敗血症の患者さんは5人、発生率は0.15%でした。
- ◇ 手術・処置等の合併症は、透析シャント狭窄 1件、術後創部感染 3件、左医原性気胸 1件、右鼠径部術後創部感染 1件でした。
- ◇ 当院では、手術や処置などを行う際には合併症を起こさないよう細心の注意を払い施行しています。起こり得る合併症については、事前に可能な限り患者さんに説明を行った上で、同意をいただくよう努めています。

■医療の質指標■

1、リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率

肺血栓塞栓症のリスクレベルが「中」以上の手術を施行した退院患者数(分母)	分母のうち、肺血栓塞栓症の予防対策が実施された患者数(分子)	リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率(%)
73	68	93.15

肺血栓塞栓症の予防対策として、全入院患者に対しスクリーニングをかけ、対象となる方の抽出を行っており、手術以外の内科的疾患の患者に対しても漏れなく対策を取っております。

2、血液培養2セット実施率

血液培養オーダー日数(分母)	血液培養オーダーが1日に2件以上ある日数(分子)	血液培養2セット実施率(%)
890	840	94.38

院内ASTチームによる啓蒙活動により、血液培養の2セット実施率は高い数値を維持しております。今後も引き続き血液培養2セットの習慣化を図っていきます。

3、広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率

広域スペクトルの抗菌薬が処方された退院患者数(分母)	分母のうち、入院日以降抗菌薬処方日までの間に細菌培養同定検査が実施された患者数(分子)	広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率(%)
231	186	80.52

抗菌薬使用時の細菌培養実施率は上記の通りとなっております。
今後もASTチームによる研修会や委員会等を通し、必要性の周知を図っていきます。

4、転倒・転落発生率

退院患者の在院日数の総和 (分母)	退院患者に発生した転倒・ 転落件数(分子)	転倒・転落発生率(‰)
48175	174	3.61

地域的に高齢者が多く、入院において転倒や転落が発生してしまうケースがあります。
離床センサーやセンサーマットを使用する等、転倒・転落が発生しないよう医療安全管理室が中心となって
対策を講じています。

5、転倒転落によるインシデント影響度分類レベル3b以上の発生率

退院患者の在院日数の総和 (分母)	退院患者に発生したインシ デント影響度分類レベル3b 以上の転倒・転落の発生件 数	転倒転落によるインシデント 影響度分類レベル3b以上の 発生率(‰)
48175	7	0.15

転倒転落リスクが高い患者さんに対し多職種で連携した適切な対応を行っており、
インシデント影響度分類レベル3b以上の発生率は低い値で抑えられています。
引き続き対策を講じて、発生率の低値を維持してまいります。

6、手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

全身麻酔手術で、予防的抗菌薬投与が実施された手術件数(分母)	分母のうち、手術開始前1時間以内に予防的抗菌薬が投与開始された手術件数(分子)	手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率(%)
106	106	100

手術部位感染を予防するため、全身麻酔を実施する方に対し全件予防的抗菌薬投与を行っております。手術を受ける患者の安全確保の為、今後も積極的に取り組んでいきます。

7、d2(真皮までの損傷)以上の褥瘡発生率

退院患者の在院日数の総和(分母)	褥瘡(d2(真皮までの損傷)以上の褥瘡)の発生患者数(分子)	d2(真皮までの損傷)以上の褥瘡発生率(%)
46482	35	0.08

認定看護師を中心に褥瘡リスクの評価を行い、個々の患者に合わせた対策を行っております。また同看護師による院内研修会を開催し、褥瘡予防の重要性を職員に周知しています。

8、65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合

65歳以上の退院患者数(分母)	分母のうち、入院後48時間以内に栄養アセスメントが実施された患者数(分子)	65歳以上の患者の入院早期の栄養アセスメント実施割合(%)
2437	4	0.16

65歳以上の入院患者へ早期における栄養アセスメントの実施を可能な限り実施しておりますが十分に行き届いていない状況です。質の高い医療を提供出来るよう、体制強化に努めております。

9、身体的拘束の実施率

退院患者の在院日数の総和(分母)	分母のうち、身体的拘束日数の総和(分子)	身体的拘束の実施率(%)
48175	726	1.51

当院では、患者さんの尊厳を守る医療の実践として身体的拘束の最小化に厳格に取り組んでおります。身体的拘束を最小限に抑えるための体制・環境作りを多職種で連携しながら行い、極めて低い水準を維持しております。